

目次	
口絵	
序	
凡例	
総合解説	1
第一章 尾張徳川家の成立と家政	11
第一節 支配体制の成立	12
名古屋遷府と築城／初期の藩政	
第二節 家と家政	33
藩主と連枝／御殿の表と奥／他家との交際	
第三節 幕府・朝廷との関係	92
役儀と儀礼／政治と情報流通	
第二章 家臣団の特質	123
第一節 軍制と家臣団	124
藩成立期の軍制／同心頭と同心組／寛政期の軍制改革／	
嘉永・安政期の異国船警護／装備の近代化と兵制改正	
第二節 家臣団と知行制	164
四ツ概と在所持ち給人／地方知行と蔵米知行／元治期の給人の土着	
第三節 両家年寄成瀬家	186
成瀬家の役割／成瀬家の由緒と格式／成瀬家中諸事定／	
犬山城の修復／拝領鷹場の支配／犬山藩	
第四節 重臣と地域支配	237
第三章 藩政のしくみ	255
第一節 領国基盤の整備と支配構造	256
藩領の形成と基盤整備／藩政機構	
第二節 藩社会のひろがり	309
領国外の支配／他領との関係／山と川	
第四章 藩政の展開と財政	365
第一節 藩政の展開と藩財政の動向	366
初期藩政における財政／享保・元文期の藩政と財政問題／	
天明・寛政の改革と財政再建／天保・安政の改革と財政破綻	
第二節 災害への対応	420
洪水／地震その他災害	
第三節 米切手	435
第四節 調達金	459
第五節 藩主側金と尾張名目金	479
藩主側金／尾張名目金	
第五章 武士身分とその周辺	485

第一節 身分と格式	486
奉公の系譜と家格／家の存続／御目見・披露／直臣と陪臣	
第二節 勤務と給付	511
召出と給付／人 事／屋敷拝領と武家地	
第三節 武家奉公人・雇い・出入りの者	534
日用頭佐和屋理右衛門／江戸での奉公人の召抱え・雇い・出入りの者	
第四節 武家の暮らし	550
家 計／御側寄物金と新田金／職 芸	
第五節 武士身分の周辺	598
武士的処遇とその基準／支配の者	
第六章 寺社と領主	609
第一節 武家の菩提寺	610
先祖の地／尾張徳川家の菩提寺／尾張徳川連枝家・藩士の菩提寺	
第二節 領内秩序と寺社	630
朱印地と黒印地／寺社と職能	
第三節 領外世界と天変地異	656
他邦への美目／自然への畏怖／本末関係の中の尾張	
第七章 学・芸へのまなざし	707
第一節 藩校の運営	708
明倫堂／江戸弘道館	
第二節 所蔵書画と道具類	731
名古屋城／江戸屋敷	
第三節 能楽・雅楽	748
能・狂言／雅 楽	
第四節 政治文化	796
第八章 幕末尾張藩と名古屋藩	813
第一節 書状にみる幕末維新期の尾張藩	814
第二節 十四代藩主徳川慶勝「安政五年日記」	879
第三節 幕末の京都情勢と尾張藩	897
第四節 「待賓館御用留」にみる勤王誘引	911
第五節 維新政府と名古屋藩	918
解説	937
あとがき	1037
執筆分担	1039
資料提供者及び協力者	1040
愛知県史編さん関係者名簿	1042
関係人物一覧	1053
史料群別掲載史料一覧	1056